

表 2-1 3-1 内分泌かく乱物質とアレルギーに関するコホート研究

地域・対象者	対象者数	追跡期間	化合物	検討された交絡要因	オッズ比等
Weisglas-Kuperus, 2000 オランダ	193人	1990～1992 から4 2月	PCB-118 PCB-128 PCB-153 PCB-180 (以上、母体血、臍帯血、 母乳、幼児血－4 2ヶ月時) dioxin(母乳のみ)	性 初期の栄養(母乳か人工か) 母乳の期間 第1子か否か 両親の教育歴 両親の喫煙 両親のアトピー 保育所	喘鳴を伴う息切(ΣPCB(母体血) OR=0.44、P=0.05) 再発性の中耳炎(ΣPCB(幼児血) OR=3.06、P=0.02) 水痘(ΣPCB(幼児血) OR=7.63、P=0.03) 喘息/気管支炎(ΣPCB(児血) OR=0.01、P=0.01) 再発性の中耳炎 (mono-ortho PCB TEQ(母乳) OR1.17、P=0.01; planner PCB TEQ(母乳) OR 1.10、p=0.04) 咳、胸部うっ血、喀痰 (dioxin TEQ(母乳) OR=1.06、P=0.04)
Tusscher, 2003 オランダ	27人	1994～ 8年間	dioxin (dioxin-like PCBを除く) 母乳	なし	周産期のダイオキシン暴露はアレルギーの減少と関連 (slope=-0.414、P=0.023) 出生後のダイオキシン暴露もアレルギーの減少に関連 (slope=-0.06、P=0.03)
Weisglas-Kuperus, 2003 オランダ	167人	1990～1992 から7年	PCB-118 PCB-128 PCB-153 PCB-180 (以上、母体血、臍帯血、 母乳、幼児血－4 2ヶ月時) dioxin(母乳のみ)	性 初期の栄養(母乳か人工か) 母乳の期間 第1子か否か 両親の教育歴 両親の喫煙 両親のアトピー 保育所	水痘(ΣPCB(母体血) OR=0.53、P=0.03 ; ΣPCB(臍帯血) OR=0.04、P=0.02) 喘鳴を伴う息切れ(ΣPCB(母体血) OR=0.59、P=0.04) 再発性の中耳炎 (ΣPCB(母乳)*母乳期間OR=1.19、P=0.04)

表 2-1 3-2 内分泌かく乱物質とアレルギーに関する症例対照研究

地域・対象者	症例	対象	化合物	オッズ比等
Guo 1999 台湾	795人 (台湾油症)	693人	PCB、 PCDF	皮膚アレルギー 男性 OR 2.1 (95%CI 1.3-3.4) 女性 OR 2.6 (95%CI 1.8-4.0)

表 2-1 3-3 内分泌かく乱物質とアレルギーに関する断面研究

地域・対象者	対象者数	化合物	検討された交絡要因	オッズ比等
Reichrtova, 1999 スロバキア	120人	塩素化ベンゼン、有機農薬 PCB (28, 52, 101, 118, 138, 153, 180) (胎盤中)	なし	臍帯血IgEとp,p'-DDE (r=0.3294, P=0.01) 臍帯血IgEとPCB118 ( r =0.3824, P=0.006)